

野本やすし市政だより



大震災から一年以上が過ぎましたが、まだまだ復興には課題山積です。明治維新、戦後に続く転換期と言われている今、長野市として何をすべきか、また何をしなければならないのか。歴史に学びつつ、新生日本を成し遂げていかなければならないと考えております。どうぞ、今後ともご指導、ご鞭撻のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

☉ 議会活動より

【所属委員会】（平成23年10月～平成24年9月任期）

常任委員会：総務委員会

特別委員会：庁舎市民会館特別委員会 副委員長

：議会基本条例検証・議会活性化検討委員会
（～平成24年9月任期）



総務委員会視察にて

【6月市議会定例会にて一般質問いたしました】

Q. 友好都市 中国・石家庄市を通じた農産物の輸出
とインバウンドについて

⇒石家庄市の観光事業者が本市を訪問予定、実現後具体的に対応する。

Q. 本市各支所の国旗掲揚状況について

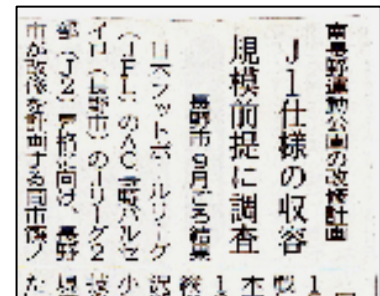
⇒掲揚していなかった5支所には指示、掲揚できない5支所は対応を検討。

Q. AC長野パルセイロスタジアム建設について

⇒南長野運動公園に、J1クラスの15000人収容スタジアム建設を予定。

Q. 消防団へのインセンティブについて ⇒大事なことなので、検討していきたい。

◆ほか、新規就農者支援事業の進捗状況、野生鳥獣被害対策等について質問いたしました。



6/14 付信濃毎日新聞に掲載

【議会トピックス】

▶ 新庁舎・ホール基本設計案がまとまりました

設計事業者が決定し、基本設計案がホームページで公開されています。市民説明会の開催、パブリックコメントの受付等が行われました。

▶ 地域防災計画の見直しが行われました

東日本大震災による教訓の反映、合併による広域化と防災アセスメントの実施等により、地域防災計画と水防計画が見直されました。自力で避難が困難な方の情報共有や、避難計画の策定など、新たな項目が追加されています。詳しくは長野市ホームページ、または野本事務所までお問い合わせください。



模型写真（昭南通側から見て、左から市民会館、新庁舎、立体駐車場）

～ ご意見・ご感想等お聞かせください ～

野本やすし事務所

長野市川中島町四ツ屋 1174-34

TEL : 026-284-8025 FAX : 026-284-8035

★ホームページは「野本やすし」で検索してください

野本やすし

検索

野本やすしプロフィール

昭和47年12月 長野市川中島町生まれ。

川中島小学校、川中島中学校、長野県屋代高校、関西学院大学卒業。現在長野市議会議員

野本やすしの活動

【友好姉妹都市 中国・石家庄市訪中団へ参加】

本年4月、長野市の友好姉妹都市・中国 石家庄市へ、5名の議員代表の一人として訪中して参りました。

石家庄市と長野市は、本年度で姉妹都市締結30周年を迎え、おやきの実演や、農作物の紹介等、多くの記念事業が行われました。

石家庄市は人口約1000万人と、長野市よりはるかに多い人口ですが、北京から約200km、内陸に位置し、果樹栽培が盛んなど、長野市と似ている点も多くあります。

今回の訪中では、多くのことを学ばせていただきました。

一つには、日本、長野は美しく、素晴らしい所であること。海外から戻って来た多くの方が感じる場所かもしれませんが、ゴミ一つない空港、済んだ青空、安心できる治安、美味しい食事…など、やはり我が国日本は、誇りの持てる素晴らしい国だと実感しました。

特に「食」については、中国でも高級化が進んでおり、日本の酒、米、味噌、しょうゆ、果物など、石家庄市の皆さんには、ぜひ一度食べていただきたい、そうしたものがたくさんあると感じました。

また、中国はやはり「巨大マーケット」であること。多民族国家である中国の方のたくましさを目の当たりにし、もはや日本国だけの競争だけでなく、長野市もまさにグローバルスタンダードの視点で、いかに観光面・経済面で売り込めるか、その必要性を感じました。

自国の、故郷の良さは、離れて初めて感じる部分も多分にあるのではないのでしょうか。日本の清潔さ、秩序の保たれ方、おもてなしの心、美しい自然、温泉、繊細な料理など、中国の皆さんにとって、隣国ならではの魅力を伝えたいと感じております。



石家庄市民の皆さんと



歓迎式典、市長対談にて



石家庄市外国語学校にて

野本やすしの“所感”

今回の訪中で、「石家庄市外国語学校」という、地元ではいわゆるエリート校を訪問しました。教室にいくつかの「標語」が掲げられており、そのうちの一つに「愛国」がありました。翻ってみると、日本はやれここがダメだとか、何がいけないとか、自国を批判する論調が多い中、自国を、故郷を愛する気持ちは、人の根幹に関わる非常に重要なことではないかと感じました。

今回、議会において「小中学校における近現代史」について質問させていただきましたが、教育長から、長野市教育大綱では「郷土に誇りを」を掲げて豊かな人間性の実現を目指すとの回答をいただきました。子どもたちには特に、故郷を離れても、地元を愛する気持ちを忘れずにいて欲しいと、心から願うところであります。

～野本やすし後援会にご入会ください～

お名前	ご住所	お電話